

大阪府保育士会だより



# ほほえみ

平成 26 年 9 月 1 日  
第 98 号

大阪府社会福祉協議会  
保育部会・保育士会  
大阪市中央区中寺 1-1-54  
TEL 06-6762-9001

26 年度  
近畿ブロック  
保育研究集会  
第 4 分科会

## 出産後の「ベビープログラム」を継続的に実施 母親が主役、学び成長し合う交流の場

### 「初めて子育てする母親への支援」テーマに発表

―豊中あけぼの保育園

平成 26 年度近畿ブロック保育研究集会神戸大会が 7 月 10、11 日の両日、ホテルオークラ神戸で開かれ、「地域の子育て家庭への支援の充実にむけて」をテーマにした第 4 分科会で、豊中市の豊中あけぼの保育園の保育士、堺理絵さんが、自園の「初めて子育てする母親への支援」について発表されました。

堺さんはまず、これまでの子育てで支援を通して見えてきた課題として、①参加する子どもの低年齢化②子育て相談の増加(赤ちゃんのことが解らない)③孤立した親子④親子の関わり希薄さ⑤一時保育利用者の急増などを挙げたうえで、母親が家庭での子育てに行き詰り窮屈さを抱えている点、その現状は 0 歳時期の子育てからすでに始まっていると分析。

同保育園ではこのため、初めて親になった人が安心して子育てできるように、妊娠から出産後の「ベビープログラム」の対象者は、初めて母親になった人、また外出の機会が少なく孤立しやすい 0 歳前半の子を抱えた母親と赤ちゃんです。

10 組程度で構成され、週 1 回の 4 回コース。母親同士で話し合い、学び合いができるようディスカッション形式で展開されています。テーマは毎回、お母さん方の関心事から決め、スタッフは進行役に徹し、助言は控え見守ります。母親が主役になり、ともに学び成長し合うことがで



堺理絵氏

中のお母さんに向けた「ママサロン」と、出産後の母親向けの継続的な支援「ベビープログラム」を始められました。

きる「エンパワーメント」をねらいとされているからです。

参加者はアンケートに答え、「一人じゃない、みんな一緒だと知った」「参加することで、イライラが解消され、家の雰囲気明るくなった」「夫と育児の話が積極的にできるようになった」「完璧を目指すようになっていい、心にゆとりができた」といった声が寄せ

られ、気持ちの変化が読み取れるという事です。

育児知識やスキルを習得するだけでなく、今後の親同士の繋がりにも大きな期待ができる「ベビープログラム」の効果を手寧に説明されました。

一方で、子育て支援スタッフのスキルの向上や外出機会の少ない対象者の募集をどうするか、地域(市の保健部門)との連携も含めて今後の必須の課題であると述べられました。

保育士研修会が 6 月 13 日、大阪国際交流センターで開かれ、「コミュニケーション美人になる方法」をテーマに、トーキング・プランナーの坪内美樹氏の講義が行われました。

### 笑顔に磨きをかけコミュニケーション美人に

坪内氏が保育士研修会で強調

坪内氏ははじめに、「自分からの働きかけ」と「相手への思いやり」がコミュニケーションの基本と指摘。コミュニケーション・スキルにはいろいろあるが、難しいことを学ぶ前に、まずは「笑顔」に磨きをかけることが大切だ、と述べられました。

坪内氏はさらに、「日々のストレスや疲労などで笑

堺さんは最後に、「出産後間もない母親には育児は未知であり、不安な日々を過ごされていますが、少し先を見通した育児を知ること、その不安は軽減されます。子育て仲間ができることは、母子カプセル化を防止し、ひいては虐待防止にも繋がるはず。『親として育つこと』ができる支援が今後ますますまな場所で開催されることを強く願っています」と締めくくられました。

(東大阪市 N.Y.)

顔になれないという人も少なくないでしょう。しかし、そんな時だからこそ一度肩の力を抜いて『ラクに』なり、素敵な笑顔を探してみてくださいい「アドバイス」。

笑顔は自分自身を幸せにし、相手を幸せにできる、その空気にふれる周りの人も幸せにする、その実感をもって、相手とコミュニケーションをとってほしい、と強調され、目に見えない思いは、行動に移すことによって相手に届けることができると結ばれました。

(豊中市 M.M.)

子育て支援シリーズ40

# 親子リフレッシュの「わんぱく教室」 —週2回、育児相談にも対応

## 地域の子育てサロン参加など多彩な支援活動

### —泉佐野すえひろ保育園



泉佐野すえひろ保育園で、子育て支援事業として

「親子教室」「育児相談」「園庭開放」を柱に実施して

ま。季節に応じた簡単な製作、夏には水遊び、秋には近くの公園へ弁当持参の遠足やどん

ぶり拾いなども行っています。7月の夕涼み会では園児と一緒に楽しい時間を過ごすほか、「わんぱく教室」だけの運動会も行われます。クリスマス会やお楽しみ会では園児たちが歌やお遊戯を

披露し毎年好評です。小さい子どもが対象なので、午前10時の開始時間に揃わないことも多いです。このため先に自由遊びを取り入れ、その時間を利用してお母さんたちの子育ての悩みを

を聞き取り、教室が終わったあとも育児相談に応じています。子どもたちにとってのも、午前中の活動の場を設けることにより、1日のリズムができてきます。親子ともどもリフレッシュされてお帰りになる姿にやりがいを感じます。これからも気軽に参加できる教室を目指し努力

「親子教室」は「わんぱく教室」の名称で年間を通して

火・木曜日に、「園庭開放」は第2・4水曜日に行っています。今年度から園舎、園庭が新しくなり、参加人数も増えています。

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「わんぱく教室」は0歳児から2歳児クラスが中心で、

「保育の専門性を高める連続研修会（園長・リーダー・主任保育士研修会）」が8月8日（第1日目）、大阪府社会福祉会館で開催され、「保育所におけるリスク・マネジメント」と「保育者のためのコミュニケーション・スキル」をテーマに、NPO法人保育の安全研究・教育センター代表の掛札逸美氏による講義が行われました。要旨は次の通りです。

保育園で起きうる「最悪

すく、取れにくいもので、

### 連続研修会1日目

## 風通しのよい 職場環境をつくろう 職員全体でヒヤリハットの共有を



掛札逸美氏

非常に危険です。自園やご家庭で扱っていないか再確認しておきましょう。また、組織内のコミュニケーションは、リスク・マネジメントの基礎です。「これは危険」「ヒヤリハットした!」「対応に困った

な」と思った時、園長や主任に伝えられているかどうかです。リーダーは職員一人一人に思いやりを持ち、相手が伝えたいことを受け止めることが大切です。職員全体でヒヤリハットした事故のプロセスを記録する習慣をつけ共有するなど、危なさや安全、保護者対応などについて、自由に話し合える「風通しの良い」職場環境をつくりましょう。安心は日常のリスク・コミュニケーションから生まれ

学校から保育園まで通える距離の1校だけですが、夏休みなどの長期休暇は他校区（卒園児）からも利用可能です。通常の子どもたちは、学校が終わるとホッとすると、なかなかスムーズに下校してくれませんが、地域の安全パトロールの方に見守られて下校できていることに感謝しています。さまざまな支援事業を通して、大切な子どもたちを地域のみなさんと力を合わせて育てていきたいと思っています。

（泉佐野市 H・M）

（堺市 T・H）

書いたら、必ず読み返す

皆さんの園日より、クラスだよりに「子どもたち」保護者の皆さん」といった言葉は増えましたか？ ポイントを意識しながら書くのは難しいもの。書き終わったら必ず読み返し、「ここに『子どもは』と入れたほうがいいな」というふうに考えましょう。

字がぎゅうぎゅう詰めになってしまうお便り…。どんなに良い文章でも、見ただ目で「読みたくない」と思われたら終わりです。では今回、お伝えするポイントとは…。

ポイント4 保護者の受け取り やすさを考える

次の例は園の視点で書かれていて、保護者には不親切です。なぜでしょう？

★保育参観の予定です！

- 17日 にじ組、そら組
19日 はな組、ほし組
22日 かぜ組、ゆめ組

ひとつは、保護者が「私の子どもはほし組だから…」19日か」と探さなければいけない点。さらに、たとえばゼロ歳児の第一子を預けている保護者や、他の年齢で途中入園した子どもの保護者にとって、他の組の名前は「？」です。保護者の受け取りやすさ

★保育参観の予定です！

- ゆめ組 (0歳児) 22日
はな組 (1歳児) 19日
かぜ組 (2歳児) 22日
にじ組 (3歳児) 17日
そら組 (4歳児) 17日
ほし組 (5歳児) 19日

学びシリーズ29

伝えたいことが伝わるお便り作り②

保育の安全研究・教育センター代表 掛札逸美

と書くべきです。保護者は自分の子どもの日を見つけてやすく、同時に「来年は〇〇組なんだ」と見通しを持つこともできます。予定や行事の持ち物などを知らせる時は必ず、「私が保護者だったら…」という視点で見直してください。この手間をかけることで、

予定の勘違いや忘れ物を減らせるのですから。お便り全体のレイアウトも重要です。予定やお願いはなるべく「か所にまとめましょう。A4用紙を貼るスペースは家庭の冷蔵庫にありません。でも、紙を四つに折った時に予定とお願

いが見える形にレイアウトしておけば、折って冷蔵庫に貼っておいても大丈夫(＝見てもらえる)可能性が上がります。

ポイント5 「してほしいこと」を明確に書く

こういった文章が見受けられます。

- 持ち物すべてに名前を書いてください。薄くなっている物もありますので、確認してください。
●爪が伸びているお子さんがいます。気をつけてください。
●水筒を持たせてください。

こうした文章は、「何を保護者にしてほしいか」があまりです。連絡では「何を、どうしてほしいか」を常に明確に書きましょう。そうしないとすれ違いが起き、「お便り(掲示)ではわからなかった」という苦情にもつながります。

残念ながら、今は「言わなくてもわかるでしょ」は通用しません。

- 持ち物すべてに名前をフルネームで書いてください。薄くなっている物もありますので、すべて書き直してください。
●爪が伸びているお子さんがいます。角を丸く、短く切ってください。
●水筒に水かお茶を入れて、持たせてください。

ポイント6

保護者は「おとな」

お便りでは「子ども向け」の言葉も使われています。

●先日、いるかぐみは、くじらぐみのお友だちと一緒にのみずあそびをしました。

●先日、いるか組の子どもたちは、くじら組の子どもたちと一緒に水遊びをしました。

「お友だち」は、保育者にとっては子どもに対する呼びかけ言葉ですから、お便りでも多く使われます。でも本来、「友だち」は大事な意味を持った言葉。保育園でも年中以降になれば、人間関係の文脈で「友だち」を使うようになります。この大事な言葉を普段つかいしないでください。また、保護者にとっては「お友だちって誰のこと？」。意味があって「友だち」を使う時以外は、「子ども(たち)」で。そして、おとなが読むのですから、適切に漢字を入れて。

地域とともに  
ふれあひ大切

# 高齢者施設を訪問し

## 世代間交流

### 5歳児は肩たたき、3歳児は遊戯を披露

#### お返しの妖怪ウォッチ・ペンダントに大喜び

— 国分保育園 —

大阪南部の国分保育園は緑豊かな自然に囲まれています。「柏原ぶどう」が名産で、7月半ば〜8月が旬。道沿いでは濃くて甘いぶどうが売られています。

当園は、年に数回（各クラス1回）、「国分デイサービスセンター」愛の輪を訪

問し、高齢者のみなさんとのふれあいを楽しみにしています。

昨年度初め、同センターから「ぜひ子どもたちに遊びに来てほしい」と声をか



けられたのがきっかけ。高齢者の方との関わりは、園児の祖父母を招く敬老の日や老人会のみなさんに見に来てもらう運動会など園内行事はありますが、園児の方から訪問することはなかったので嬉しいお誘いでした。

これまでに利用者さんの多い日の5月に5歳児、6月に3歳児が同センターを訪問しました。各回とも20人前後のおじいちゃん、おばあちゃんに、子どもたちが加わり、輪になって歌や手遊び、ふれあい遊びなど充実したひとときを築きました。

音楽に合わせ手をつないだり、体に軽くタッチしたりして遊んだ後、3歳児は昨年の生活発表会のお遊戯「てんとと虫のサンバ」を披露しました。「かわいいなあ。おいで」と、椅子から立ち上がってハグしてください

守口市の八雲中しろはと保育園は、乳児クラスで育児担当制を行い、一人ひとりと丁寧に関わっています。また、幼児クラスでも小グループに分かれて活動するなど、子どもたちが落ち着いた環境の中で過ごすことができる保育を実践されています。

乳児クラスでは特に、情緒を安定させ安心感が生まれるように、毎朝「じゃれつき遊び」をされています。マットを広げた上で、ぎゅっと抱きしめたり、くすぐりあったり、高い高いをしたり、子どもとふれあいがらスキップ遊び。

朝の「じゃれつき遊び」方もおられました。5歳児は肩たたきをし、一人一人お名前を覚えてもらい握手。「しわしわ」「やわらかいわぁ」と子どもたち。最後は高齢者のみなさんが「ふるさこ」を手話を交えて歌ってくれました。

子どもたちから笑顔と元気をプレゼント！ お返しにおじいちゃん、おばあちゃんからは「ジバニャン」

で子どもの身体的、心理的な欲求が満たされて、保育者との間に愛着関係が生まれるようです。この安心感が人間関係を築く土台となると考え、乳幼児期の最も大切な取り組みとして紹介されました。

幼児クラスは「遊びながら」

「保育の工夫—現場を訪ねて—」



### 安心感を生む毎朝の「じゃれつき遊び」

— 乳児クラス

### 「おウマは何を食べるかな？」と遊び学ぶ環境づくり

— 幼児クラス  
八雲中しろはと保育園

「じゃれつき遊び」は、子どもとふれあいがらスキップ遊び。朝の「じゃれつき遊び」方もおられました。5歳児は肩たたきをし、一人一人お名前を覚えてもらい握手。「しわしわ」「やわらかいわぁ」と子どもたち。最後は高齢者のみなさんが「ふるさこ」を手話を交えて歌ってくれました。

「じゃれつき遊び」



「じゃれつき遊び」

「じゃれつき遊び」は、子どもとふれあいがらスキップ遊び。朝の「じゃれつき遊び」方もおられました。5歳児は肩たたきをし、一人一人お名前を覚えてもらい握手。「しわしわ」「やわらかいわぁ」と子どもたち。最後は高齢者のみなさんが「ふるさこ」を手話を交えて歌ってくれました。

「じゃれつき遊び」は、子どもとふれあいがらスキップ遊び。朝の「じゃれつき遊び」方もおられました。5歳児は肩たたきをし、一人一人お名前を覚えてもらい握手。「しわしわ」「やわらかいわぁ」と子どもたち。最後は高齢者のみなさんが「ふるさこ」を手話を交えて歌ってくれました。

## 後記

この夏、台風と局地的な集中豪雨に大きな被害が発生し、大変な思いをされたことと思います。地域の復興を祈ります。

恒例の「保育士の専門性を高める連続研修会」にはたくさんの方に参加いただきました。熱心に受講さ